

仕様書 No GU - 6 2 8 8
三面図 No 6 0 0 - 0 0 0 5 7 2 1

S P 1 2 C S N 型
自 走 式 高 所 作 業 車
仕 様 書

株式会社アイチコポレシオン
商 品 開 発 部

承 認	検 印	作 成

平成 21 年 5 月 20 日

目 次

1 . 概 要	_____	1
2 . 架 装 型 式 名 称	_____	1
3 . 主 要 諸 元	_____	1
4 . 特 長	_____	2
5 . 主 要 構 造	_____	3
6 . 車 両 主 要 諸 元	_____	8
7 . 付 図 (作 業 範 囲 図)	_____	9
8 . 三 面 図	_____	卷末

1 . 概 要

本機は、バスケット内で走行操作もできる高所作業車であり建築、造船、メンテナンス等従来足場を組んでいた工事等に使用して頂く為開発したもので、工事の省力化、合理化及び安全性の向上に役立つものです。

また、製作にあたっては「高所作業車構造規格」に準拠しております。

2 . 架 装 型 式 名 称

型 式	S P 1 2 C S N 型
名 称	自走式高所作業車

3 . 主 要 諸 元

バスケット最大地上高	1 2 . 0 m
積 載 荷 重	2 5 0 kg
最 大 作 業 半 径	1 0 . 0 m
バスケット 内 側 寸 法 首 振 り 角 度	0 . 7 5 × 1 . 5 × 1 . 0 m (長さ×幅×高さ) 左 9 0 ° ~ 右 9 0 °
ブ ー ム ブ ー ム 長 さ 伸 縮 ス ト ロ ク 起 伏 角 度 起 伏 速 度 伸 縮 速 度	4 . 8 3 ~ 1 0 . 5 6 m 5 . 7 3 m - 1 1 ° ~ 7 5 ° 上 - 1 1 ° ~ 7 5 ° / 4 0 s 下 - 1 1 ° ~ 7 5 ° / 4 0 s 伸 5 . 7 3 m / 2 5 s 縮 5 . 7 3 m / 2 5 s
旋 回 装 置 旋 回 角 度 旋 回 速 度	3 6 0 ° 全旋回 1 . 0 rpm (ブーム全縮時)
走 行 装 置 走 行 速 度	0 ~ 4 km/h

4. 特 長 高 揚 程

3段同時伸縮ブームにより12mの高揚程を有しています。

広 範 囲 な 作 業 半 径

スタビライザを広げずに大きな作業半径を有しています。

バ ス ケ ッ ト 首 振 り 機 構

首振り機構により作業対象物にバスケットを向けることが容易に行えます。

バ ス ケ ッ ト 集 中 操 作 装 置

バスケットでブーム操作の他に、走行、ステアリング操作も行えます。

優 れ た 操 作 性

比 例 制 御 方 式 採 用

レバー操作量に応じて作動スピードをコントロールでき、微作動も簡単に行えます。

シ ョ ッ ク レ ス

ブームの作動開始と停止時にショックレス機能が働きます。
バスケットの揺れを低減した、人に優しい機能です。

旋 回 周 速 制 御

ブーム伸長が長い時には安全な速度に、短い時にはスピーディな速度にコントロールします。

小 さ な 旋 回 半 径

旋回体のオーバハングが小さく、狭い場所での旋回も容易に行えます。

優 れ た 整 備 性

エンジンを旋回体に設置し、日常点検、定期点検が容易に行えます。

ブ レ ー キ 解 除 機 構

ブレーキ解除機構により、車両のけん引が容易に行えます。

伸 縮 機 構 内 蔵 式 ブ ー ム

ホース、ケーブル類を突起物で傷つけたり、落下物、溶接火花などによる損傷から保護します。

安全装備の充実によって高い安全性を確保

バスケット部にワイヤ式セーフティスイッチ及びフートスイッチを装備。

5. 主要構造 動力源及び駆動方式

バスケット
本体構造
平衡装置
首振り装置

ディーゼルエンジンによる油圧駆動方式

構造用鋼管溶接構造
バランスシリンダによる強制平衡式
ロータリーアクチュエータ

ブーム
構起伸
伏縮
方式
方式

高張力鋼板箱形断面溶接構造
油圧シリンダ直押式
3段同時伸縮方式（油圧シリンダ及びワイヤ
ロープ方式）

旋回装置
構造
駆動方式
旋回方式
旋回体送油装置

構造用鋼板溶接構造
油圧駆動
ボールベアリング式
スィベルジョイント方式（旋回体中心部）

走行装置
構造
駆動方式
走行ブレーキ
駐車ブレーキ

構造用鋼板溶接構造
油圧駆動
油圧式ロック
機械式ブレーキ

操舵装置
機構

油圧シリンダ及びリンク式

上 部 操 作 装 置
操 作 位 置
操 作 方 式
レバー、スイッチ、ランプ類

バスケット部
油圧弁電磁比例制御方式
走行操作レバー
伸縮操作レバー
旋回操作レバー
起伏操作レバー
ステアリング操作スイッチ
バスケット首振スイッチ
エンジン始動 / 非常用ポンプスイッチ
作動停止スイッチ
走行速度切換スイッチ
ホーンスイッチ
電源表示灯
燃料残量警告表示灯
エンジン異常表示灯
システム異常表示灯
車体傾斜表示灯
作業範囲規制表示灯

下 部 操 作 装 置
操 作 位 置
操 作 方 式
ス イ ッ チ 類

旋回体部
油圧弁電気スイッチ制御方式
車両電源キースwitch（操作部切換式）
エンジン始動スイッチ
伸縮操作スイッチ
旋回操作スイッチ
起伏操作スイッチ
下部操作可能スイッチ
作動停止スイッチ
非常用ポンプスイッチ
始業前点検スイッチ
バスケット傾斜調整スイッチ

計 器 、 ラ ン プ 類

アワメータ

予熱表示灯

油圧異常表示灯

充電異常表示灯

燃料残量警告表示灯

水温異常表示灯

エアクリーナ異常表示灯

システム異常表示灯

車両傾斜表示灯

作業範囲規制表示灯

油 圧 装 置 常 用 油 圧	走行 ブーム	34.3 MPa {350 kgf/cm ² } 20.6 MPa {210 kgf/cm ² }
油 圧 ポ ン プ 形 式	プランジャー式（走行） 歯車式（ブーム）	
操 作 弁 形 式		
起 伏 操 作	電磁比例制御弁	
伸 縮 操 作	"	
旋 回 操 作	"	
走 行 操 作	"	
ステアリング操作	電磁切換弁	
バスケット首振り操作	"	
油 圧 モ ー タ （ 旋 回 ） 形 式	ピストン式モータ	
油 圧 モ ー タ （ 走 行 ） 形 式	ピストン式モータ	
起 伏 シ リ ン ダ 形 式	複動ピストン式	
伸 縮 シ リ ン ダ 形 式	複動ピストン式	
バ ラ ン ス シ リ ン ダ 形 式	複動ピストン式	
ステアリングシリンダ 形 式	複動ピストン式	
作 動 油	I S O グ レード 2 2 相当	
オイルリザーバ油量	1 5 0 L	
バスケット首振り装置 駆 動 方 式	ロータリーアクチュエータ式	

安 全 装 置

油圧安全弁（リリーフバルブ）

.....油圧回路異常昇圧防止

ブーム起伏安全装置

.....ホース破損時ブーム保持

（ホールディングバルブ）

ブーム伸縮安全装置

.....ホース破損時ブーム保持

（ホールディングバルブ）

バスケット平衡取り安全装置

.....ホース破損時バスケット水平保持

（パイロットチェックバルブ）

走行警報装置

.....走行時自動警報

車体傾斜警報装置

機 構

電気制御による信号出力方式

警報傾斜角

車体傾斜3°以上

作動停止スイッチ

操 作 位 置

上部下部操作装置部

操 作 方 式

押しボタン方式

制 御 方 式

操作電源遮断及びエンジン停止

フートスイッチ

操 作 位 置

バスケット床部

制 御 方 式

操作電源遮断

セーフティスイッチ

取 付 位 置

バスケット部

制 御 方 式

操作電源遮断及びエンジン停止

高速走行規制装置

機 構

電気制御による油量制御方式

規 制 内 容

ブーム起伏10度以下，全縮時のみ高速走行可能

旋回速度規制装置

機 構

電気制御による油量制御方式

規 制 内 容

ブーム伸長量により旋回速度を制御

旋回ロック装置

用 途

運搬あるいは長距離走行時の旋回台固定

形 式

ロックピン方式

補助ロープ掛け

取 付 位 置

バスケット部 2ヶ所

レバーガード

取 付 位 置

上部操作装置部

非常用ポンプ

用 途

エンジン故障時の緊急降下用

機 構

車両バッテリーによる電動モータ直結油圧ポンプ
駆動方式

6. 車 両 主 要 諸 元

寸 法	
長 さ	6 8 0 0 mm
幅	2 0 0 0 mm (タイヤ外側)
高 さ	1 9 9 0 mm
軸 距	2 2 0 0 mm
輪 距	1 7 6 0 mm
最 小 回 転 半 径	4 0 0 0 mm (外側のタイヤ中心)
旋 回 台 回 転 半 径	1 1 2 5 mm
最 低 地 上 高	2 2 0 mm
タ イ ヤ	
前 輪	8.25 - 15 (ニューマチック型クッションタイヤ)
後 輪	8.25 - 15 (")
重 量	
車 両 重 量	8 4 0 0 kg
最 大 積 載 量	2 5 0 kg
原 動 機	
名 称 型 式	ヤンマー 4 T N V 8 8 - Z K A S
特 定 原 動 機 型 式	G S - 3 5 3 (平成19年規制適合)
最 高 出 力	33.4(2800) kW(rpm) {45.4/2800 PS/rpm}
最 大 ト ル ク	137.5(1680) N・m(rpm) {14.0/1680 kgf・m/rpm}
総 排 気 量	2 . 1 8 9 L
バ ッ テ リ	
電 圧	1 2 V
燃 料 タ ン ク	
容 量	8 0 L

7 . 付

図

図 1

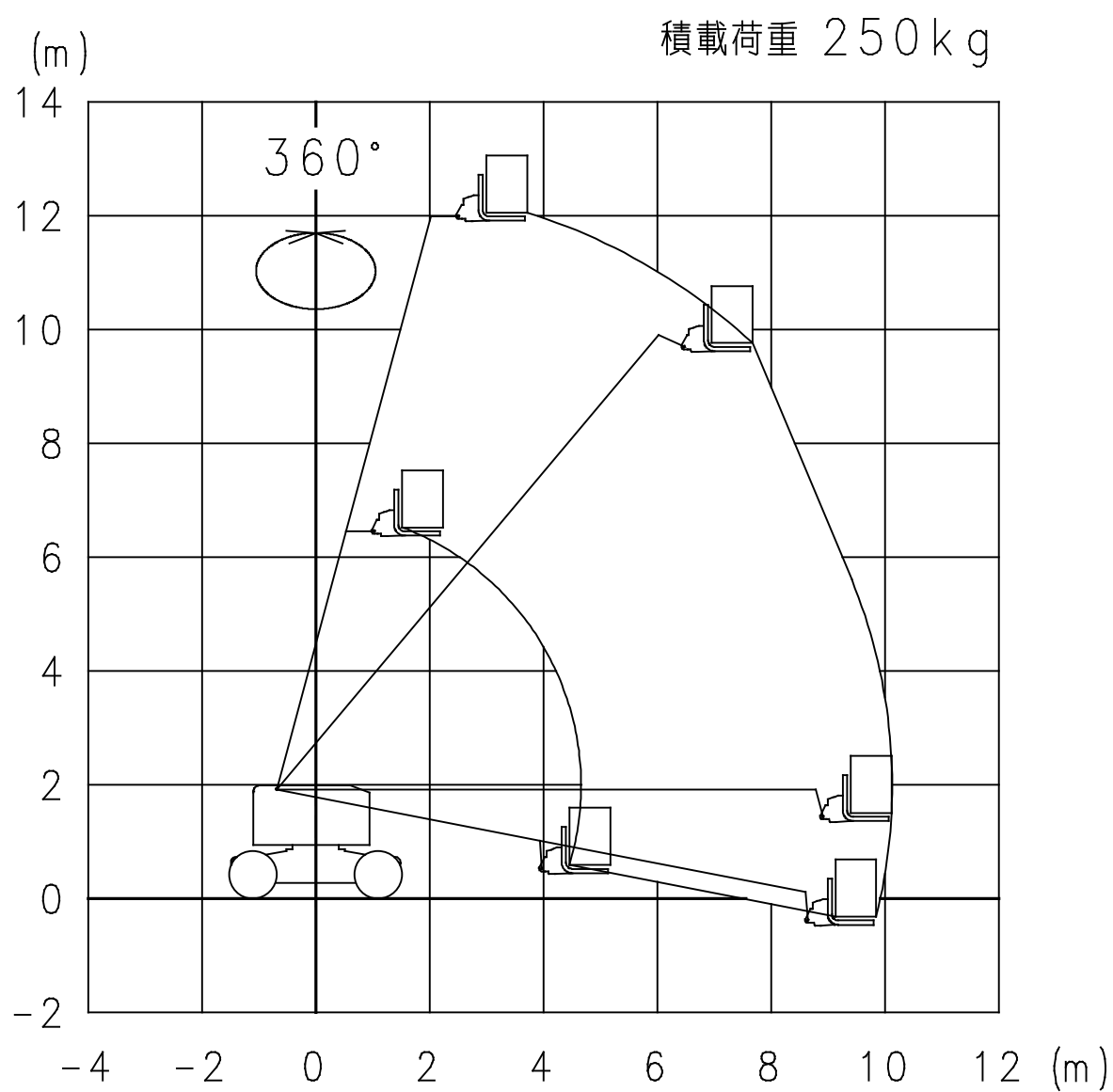
作業範囲図

6 0 0 - 0 0 0 5 7 2 1

三面図

指示なき許容差は弊社社内規格による

図1 作業範囲図



- 1 . 作業範囲は、ブームのたわみは考慮されていません。
- 2 . 作業範囲は、360° どの方向でも同じです。
- 3 . 作業範囲は、水平堅土上におけるものです。